

# ニッペ 水性ケンエースグロス<sup>®</sup>

多機能タイプの環境配慮形水性つや有り塗料。  
内装・外装の各部位に塗装可能です。

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆
------------------	-------

## ■特長

### ①優れた付着性

反応硬化形なので、各種旧塗膜への付着性に優れ、改修時にはシーラーレスでの塗装が可能です。(※) また、優れた耐久性・耐水性を発揮します。

(※) 壁面での健全な塗膜を想定しています。条件によっては下地処理や下塗りが必要な場合があります。裏面の施工上の要点と注意事項をご参照ください。

### ②優れた仕上がり

隠ぺい性に優れ、作業性・仕上りの両面を兼ね備えた高級品です。

### ③環境配慮形

低VOC塗料(TVOC1%以下)ですので、室内環境に配慮した水性塗料です。また、臭気も少なく、安全にお使いいただけます。

### ④やに止め性

やに止め効果があるため、軽微なやにであれば抑制できます。  
※裏面の「やに止めレベルの目安」をご参照ください。

### ⑤透湿性

塗膜には透湿性がありますので、膨れや剥離を抑制します。

### ⑥防藻・防かび性

藻やかびの発生を防止する効果があり、美観維持に役立ちます。強力防かびタイプ、抗菌タイプもオプション付与が可能です。

### ⑦現場で、つや調整可能

水性ケンエースグロスと水性ケンエースを混合し、お好みのつやに調整できます。

JIS K 5660 つや有合成樹脂 エマルジョンペイント	つや有り
-------------------------------------	------

JIS K 5663 1種 合成樹脂 エマルジョンペイント	7分つや有り 5分つや有り 3分つや有り
-------------------------------------	----------------------------

本製品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と、店頭にて調色していただく為のJIS非表示品があります。JIS表示品が必要な場合は注文時にその旨をご指示ください。

## ■用途

戸建住宅・マンション・商業施設など  
臭気配慮が必要な内・外壁面の新設・改修塗装  
内部および準外部の鉄部改修塗装

## ■適用下地

新設適用下地: コンクリート・モルタル・石膏ボード・スレート板・  
けい酸カルシウム板などの各種素材  
改修適用下地: 上記各種素材面および鉄面の各種旧塗膜

## ■標準塗装仕様

●改修塗装仕様(内・外壁面) ・やにの付着が認められる場合は、裏面の「やに止めレベルの目安」をご参照ください。

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。粉化物、ほこり、よごれを除去し、乾燥した清浄な面とする。						
上塗り	ニッペ 水性ケンエースグロス	2	0.13~0.15	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレスプレー

●新設塗装仕様(内・外壁面)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9以下)						
下塗り	水性カチオンシーラー (ホワイト・透明)	1	0.10~0.16 0.12~0.16	4時間以上	水道水	ホワイト 0~10 透明 無希釈	はけ、ウールローラー エアレスプレー
上塗り	ニッペ 水性ケンエースグロス	2	0.13~0.15	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレスプレー

●鉄部改修塗装仕様(内・準外部)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒、電動工具などで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性ハイポンププライマー	1	0.13~0.16	4時間以上 7日以内	水道水	0~5	はけ ウールローラー
上塗り	ニッペ 水性ケンエースグロス	2	0.13~0.15	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレスプレー

★上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

★塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

# ニッペ 水性ケンエースグロス

## ■ 塗装基準

塗装方法	はけ・ウールローラー・エアレススプレー塗り
希釈率	0~10%
使用量	0.13~0.15kg/m <sup>2</sup> /回
1缶あたりの塗装面積	53~61m <sup>2</sup> /2回/16kg 13~15m <sup>2</sup> /2回/4kg

- つや有りの塗付量は、0.12kg/m<sup>2</sup>/回です。
- 5分つや有り、3分つや有りの塗付量は、0.10kg/m<sup>2</sup>/回です。
- 使用量・被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の使用質量
- 塗付量・被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の付着質量
- つや調整品では、タッチアップ塗装の際、施工方法によりむらを生じることがありますので、希釈率を増やし塗付量を少なめに塗装を行ってください。

## ■ 塗り重ね乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	8時間以上	4時間以上	3時間以上

乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## ■ 容量・荷姿

塗料名	系統	容量	色相	つや
ニッペ 水性ケンエースグロス	水性反応硬化形 エマルジョン塗料	16kg 4kg	各色	つや有り 7分つや有り 5分つや有り 3分つや有り

## ■ やに止めレベルの目安

水性塗料のため、あらゆる条件でやに止められる訳ではありません。以下の色相を目安に注意して施工してください。

ニッペ水性ケンエースグロスで止まるやには左の色相が目安です。ただし、施工条件(温度、下地の状態)などにより止まらない場合がありますので予めご了承ください。左の色相見本より著しいやにが付着している場合は、水性シ止めシーラーⅡを塗装するか、しっかりと水拭きをしてやにを除去してから施工してください。	
日本塗料工業会 (25-90D) 色相見本	

## ■ 施工上の要点と注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 蓄熱されやすい建材(軽質モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高熱耐型外壁」で、旧塗膜が弾性リン、弾性スタコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高熱耐型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なると、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品では、塗り過ぎや補修でつやむらが出やすいため、面を切って通して塗装してください。
- 過剰希釈をする本塗料のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、温度、湿度、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りを確認してください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かはんしながらご使用ください。
- 防露・防かび・抗菌効果は、影響を抑制するものです。すでに乾燥している場合は、下地処理として除去および殺菌処理してから塗装してください。
- 絶えず結露が発生するよう用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場合は、塗料中の水成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 乾燥のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着感を感じる場合がありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料の塗料の塗り、使用後のはたきなどはできるだけ水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにレッカーンシンナーで洗浄してください。
- 動物物は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かはんしながらご使用ください。
- JIS K 5663 1種(主として屋外用)の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料は推奨いたします。
- 本品は必ず2回塗ってください。1回塗り2回塗りでは仕上がり感が異なります。
- 繊維織物、防水被覆用剤、酸カチオン膜、ロクワールなどの非常に強い弱な素材には塗装できません。
- 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
- 旧塗膜に発した塗・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な状態でください。付着阻害をおこなおそれがあります。
- 既存塗膜のく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターンの合わせを行ってください。
- 風化面・吸込の著しい下地では、ニッペ液浸透シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン液浸透シーラー、ファインパーフェクトシーラーを使用してください。
- 塗り替え時のシーラーは、ウールローラーⅢまたは水性カチオンシーラーをご使用ください。溶剤系シーラーのご使用は、旧塗膜の種類によっては溶剤膨れを発生させることがあります。
- シーリングの上に、変色、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直してください。
- やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あはれは止まない場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗装面を十分乾燥させてから塗装してください。
- 下地にタタコやに付着している場合は、下塗り材として水性シ止めシーラーⅡを塗装してください。
- タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、このような場合には薬剤が付着しない塗膜の養生を行ってください。
- 素地表面のpHが10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科科学社製OH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科科学社製H5000シリーズ)コンクリート圧縮強度測定した場合の条件で塗装してください。
- 表面のこびり、ほこり、エポキシ樹脂、レジンなどは除去し、自衛、ジャンク、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平準してください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外壁の素地において、単穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンプライマー、ニッペ1材プライマー#200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ液浸透シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン液浸透シーラーをお使いください。
- 塗装面から頻りに人が触れるようなドアの一部や手すりなどは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護シートなどで保護を行ってください。
- 塗装場所の気温が0度未満、もしくは湿度が50%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装(雨降、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。)
- 塗装時および塗料の取り扱いは、換気を十分に、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面の塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を行ってください。
- 薄すぎたり厚すぎたり不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに入る前にエコーレックブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りにから塗してください。
- 顔色には必ず当社専用の顔色をお使いください。
- 濃色や汚れた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により非常時接触するよう個所を使用する場合は、ファンシココンプレックスグリーナーを上塗りに塗装してください。グリーナーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶着や痛みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 濃色を塗装する際には、つやむらが目立ちやすくなるおそれがありますので、事前に試し塗りをしてご確認の上、ご使用ください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控え置き、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面割が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラーは同一方向に揃えるように仕掛けてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどに補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控え置き、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 布クロス、紙クロスや防汚用のクロス(シリコン加工された水をはじくクロス)には塗装できません。塩ビクロスで可塑剤移行が考えられる場合は所定の仕方で塗装してください。
- ローラーは、はけの塗料での塗装に使用すると、はく離や剥離が発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でのご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれるビニル鋼板、塩ビミネート、プラスチック、ゴキブリシ、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装は避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込や異穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 塗料は内容物が均一になるようによくかはんしてください。特につや調整品では、つや消剤が沈降している場合がありますので、かはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかはんしてご使用ください。
- 開封後は一度使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 大気中の浮遊成分が多い地域など、この成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 塗料を洗い流す原因となりますので、保管・運搬時に容器を横置にしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## ■ 塗膜性能

つや有りはJIS K 5660、つや有合成樹脂エマルジョンペイントの規格に合格しています。つや調整品はJIS K 5663 1種、合成樹脂エマルジョンペイントの規格に合格しています。

試験項目	規格	試験結果	
		JIS K 5663 1種	JIS K 5660
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする	合格	合格
塗装作業性	2回塗り、はけ塗り塗装作業に支障があつてはならない	合格	合格
低温安定性(5℃)	変質しないものとする	合格	合格
表面乾燥性	常温乾燥2時間以内で表面乾燥する(23℃、50%)	合格	合格
	低温乾燥4時間以内で表面乾燥する(5℃)	合格	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格	合格
隠ぺい率%	93以上	98	—
(白および淡灰)	95以上	—	98
顕微鏡(60℃)	70以上	—	—
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする	合格	合格
	96時間浸したとき、光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする	—	合格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする	合格	合格
	7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないものとする	—	合格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする	合格	合格
	1000回の洗浄に耐えるものとする	—	合格
耐凍融熱衝撃性	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱の繰り返しに耐えるものとする	合格	合格
耐凍融耐候性	白化率の等級は1以下で、膨れ、はけれおよび割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格	合格
	480時間の試験で劣化劣化率が0%以下で、白化率の等級は1以下で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	—	合格
屋外曝露	12か月の試験で、膨れ、はけれおよび割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格	合格
耐候性	12か月の試験で、白化率の等級は2以下で、膨れ、はけれおよび割れがなく、色とつやの劣化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	—	合格

## ■ 水性ケンエースとの混合によるつや調整例

	7分つや有り	5分つや有り	3分つや有り
水性ケンエース:水性ケンエース(重量比)	90:10	80:20	60:40

## ■ 安全衛生上の注意事項

### ニッペ水性ケンエースグロス 白

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取扱後は、手洗いやうがいを行うこと。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- 環境への放出を避けること。
- 本来の用途以外に使用しないこと。
- 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
- 口をすくこと。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 容器からこぼれた時は、砂などを散布した後処理すること。
- 施錠して保管すること。
- 直射日光や水濡れは厳禁。

- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとすること。
- 容器は、つり上げないこと。やむを得ずつり上げるときは、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意すること。(備考:荷重による取っ手が外れ、落下事故の危険がある。)
- 塗料、塗料容器、塗料具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理すること。容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流す環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。
- 内容物/容器を国際、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前ににご相談ください。

<b>警告</b>	<b>危険有害性情報</b>
長期にわたる、又は反復曝露による臓器の障害/水生生物に有害	

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101	近畿支店 ☎06-6455-9320
東北支店 ☎022-232-6711	中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614	四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614	九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960	

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2022 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.  
NP-A041  
TY221007T  
2022年10月現在